

令和6年 第22回 川口市教育委員会定例会

日 時 令和6年12月19日(木)
午後1時30分
場 所 川口市教育委員会室

日 程

1 開 会

2 点 呼

3 前回会議録の承認

- (1) 第21回川口市教育委員会定例会会議録

4 教育長報告

- | | |
|--------------------------------------|------|
| (1) 1月行事予定について | — 1 |
| (2) 保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会の概要について | — 5 |
| (3) 未来創造・教育力向上特別委員会の概要について | — 12 |
| (4) 教育財産の用途廃止について | — 24 |
| (5) 川口市公民館運営審議会委員の解嘱について | — 25 |
| (6) 令和7年度埼玉県公立小中学校等校長・教頭候補者選考の結果について | — 26 |
| (7) 川口市立「学びの多様化学校」の設置について | — 27 |
| (8) 令和7年度地域クラブ活動推進モデル事業について | — 28 |

5 協議事項

- | | |
|-------------------------|-----------|
| (1) 令和7年度教育費当初予算要求額について | — 当日1 (秘) |
|-------------------------|-----------|

6 議 事

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 議案第125号 職員の人事について | — 当日2 (秘) |
| 議案第126号 川口市立小中学校在り方審議会委員を委嘱することについて | — 当日3 |
| 議案第127号 川口市立小中学校在り方審議会への諮問について | — 当日4 |

7 その他

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 令和6年度川口市体育三賞選考結果について | — 29 |
| (2) 第42回川口マラソン大会の結果について | — 33 |

8 閉 会

教育長報告（１）

令和 7 年 1 月 行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化財課	中央図書館	科学館	スポーツ課		日	曜日
1	水		年始休館（～4日） （各公民館・中央ふれあい館・生涯学習プラザ・南平文化会館）	年始休館（～3日） （郷土資料館・歴史自然資料館）	年始休館（～4日） （全館・分室・文庫、メディアセブン）	年始休館（～3日）	年始休所		1	水
2	木						年始休所		2	木
3	金						年始休所		3	金
4	土					特別ワークショップ 「飛ぶおもちゃ、飛行機の原理」 （12:00 展示）	開所 （青木町公園総合運動場、体育武道センター、戸塚スポーツセンター）		4	土
5	日						開所 （東・西・新郷・芝・安行・鳩ヶ谷スポーツセンター）		5	日
6	月	仕事始め 新春交礼会 （10:00 フレンディア）					プール開始 （新郷・戸塚スポーツセンター）		6	月
7	火		市民大学「初めて学ぶ株式投資」 （～28日 オンライン）				プール開始 （東・安行スポーツセンター）		7	火
8	水			オンライン歴史教室（戸塚地域の歴史） （8:50 戸塚南小学校）			プール開始 （西スポーツセンター）		8	水
9	木				親子で楽しむ絵本とわらべうた （10:30 戸塚図書館） おはなしじゅうたん（10:30 鳩ヶ谷図書館）	来館（上尾市立東中学校向原分校）			9	木
10	金				絵本とわらべうたの会 （10:30 新郷図書館） おはなし会（11:00 芝北文庫）	来館（柏市立松葉第一・星野学園・野田市立福田第一・野田市立福田第二・越谷市立平方小学校）			10	金
11	土				おさなごのおはなし会 （11:00 前川図書館） おはなし会（14:30 中央を除く全館）	特別ワークショップ「ダ・ヴィンチの星」 ペーパークラフトを作ろう（12:00 展示） 夜間観測会「月（月齢11.5）」（18:00 天文台）			11	土
12	日				おはなし会 （14:30 メディアセブン）				12	日
13	月	成人の日	令和7年川口市はたちの集い （11:30 グリーンセンター）						13	月
14	火	南部教育長会議 （13:30 彩の国すこやかプラザ）		歴史教室出前授業 （9:30 飯塚小学校）					14	火
15	水			歴史教室出前授業 （10:50 柳崎小学校）		来館 （狭山市立南・所沢市立荒幡小学校）			15	水

令和 7 年 1 月 行 事 予 定 表

日	曜	教 育 総 務 課	生 涯 学 習 課	文 化 財 課		中 央 図 書 館	科 学 館	ス ポ ー ツ 課		日	曜
16	木	中核市教育長会第2回総会等 (15:00 秋田キャッスルホテル)					来館 (しば幼稚園、ふじみ野市立さきの森小学校)			16	木
17	金	中核市教育長会第2回総会等 (9:00 秋田市)				絵本とわらべうたの会 (10:30 新郷図書館)	来館(木曾呂・ふじみ野市立鶴ヶ丘・ 川越市立今成・川越市立霞ヶ関東小学校) 太陽観測出張授業(小谷場中学校)			17	金
18	土		青木東公民館文化祭			わらべうたであそぼう (11:00 横曽根図書館) おはなし会(14:30 中央を除く全館)	特別ワークショップ 「お天気オルゴールを作ろう」 (12:00 展示)			18	土
19	日		市民大学「スマートフォンの使い方」① (10:00 並木公民館) 青木東公民館文化祭	市指定無形民俗文化財「川口の木遣」 (10:00 荒川運動公園・消防出初式)				川口市スポーツ推進委員視察研修会		19	日
20	月									20	月
21	火			歴史教室出前授業 (9:40 飯仲小学校)	新郷図書館図書特別整理期間(～24日)(休館) わらべうたとえほんの会 (11:00 メディアセブン)		来館(新郷南・新郷東・川越市立大塚・ 小川町立八和田・川越市立福原小学校) 川口の元気夢わーく体験事業<上青木中学校>(～23日)			21	火
22	水			歴史教室出前授業 (10:50 元郷小学校)			来館 (戸塚南・草加市立草加小学校)			22	水
23	木	教育委員会定例会 (15:30 教育委員会室)		歴史教室出前授業 (9:40 新郷小学校)		親子で楽しむ絵本とわらべうた (10:30 戸塚図書館) おはなしじゅうたん(10:30 鳩ヶ谷図書館)	来館 (清泉幼稚園、けやき保育園(朝霞市))			23	木
24	金	埼玉県都市教育長協議会第4回定例協議会 (10:00 三郷市文化会館)	市民大学 「健康で毎日を楽しみましょう」① (14:00 新郷公民館)	オンライン教室 (「戦時中の川口」市内各小学校) (10:00 郷土資料館)		おはなし会 (11:00 芝北文庫)	来館 (里・戸塚綾瀬・狭山市立山王・ 川越市立広谷・狭山市立奥富小学校)			24	金
25	土		生涯学習プラザ文化祭			おはなし会 (14:30 中央を除く全館)	特別ワークショップ「デンセグリティを作ろう」 (12:00 展示) 夜間観測会「木星」(18:00 天文台)			25	土
26	日		市民大学「スマートフォンの使い方」② (10:00 並木公民館) 生涯学習プラザ文化祭							26	日
27	月									27	月
28	火			オンライン教室 (「戦時中の川口」市内各小学校) (10:00 郷土資料館)			休館日(館内整理日)			28	火
29	水						来館(戸塚北・慈林・ 坂戸市立桜・狭山市立入間野・ 野田市立尾崎小学校)			29	水
30	木		市民大学「緑を知ろう、楽しもう」① (14:00 領家公民館)	オンライン教室 (「戦時中の川口」市内各小学校) (10:00 郷土資料館)			来館 (和光市立第四・和光市立白子・ 東久留米市立本村小学校)			30	木
31	金		市民大学 「健康で毎日を楽しみましょう」② (14:00 新郷公民館)	歴史教室出前授業 (10:40 戸塚綾瀬小学校)			来館 (東本郷・東領家・加須市立鴻基・ 草加市立小山小学校)	川口市体育三賞授与式 (18:30 フレンドピア)		31	金

令和7年 1 月 行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
1	水						1	水
2	木						2	木
3	金						3	金
4	土						4	土
5	日						5	日
6	月						6	月
7	火					全日制第3回学校見学会 (13:00 市立高等学校)	7	火
8	水		3学期始業式	教育支援センター開始日 (10:00 教育研究所)		全日制始業式(9:40 市立高等学校) 定時制始業式(18:00 市立高等学校)	8	水
9	木				小・中学校給食開始 川口市学校給食献立委員会(元郷学校給食センター調理小学校)(15:30 元郷学校給食センター) 川口市学校給食献立委員会(新郷・南平学校給食センター調理小学校)(15:30 第二庁舎)		9	木
10	金				川口市学校給食献立委員会(元郷学校給食センター調理中学校) (15:30 元郷学校給食センター) 川口市学校給食献立委員会(新郷・南平学校給食センター、自校調理中学校)(15:30 第二庁舎)		10	金
11	土			附属中学校入学者第一次選考 (8:30 附属中学校)			11	土
12	日						12	日
13	月						13	月
14	火	川口市奨学資金貸付申請受付(～24日) (分庁舎庶務課)	人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)	第6期日本語指導教室開始日(～2月10日) (9:30 教育研究所)	川口市学校給食献立委員会 (自校調理小学校) (15:30 第二庁舎)		14	火
15	水		第7回市立学校長会議(9:30 第一本庁舎601大会議室) 人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (13:30 教育委員会室)	教育支援センターチャレンジサイエンス (9:30 科学館)			15	水

令和7年

1月行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
16	木			学校訪問(在家小学校) 学校訪問(前川小学校)			16	木
17	金						17	金
18	土			附属中学校入学者第二次選考 (8:30 附属中学校)			18	土
19	日		川口市ペーパーパーティーチャーター相談会 (10:00 中央ふれあい館)				19	日
20	月		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)				20	月
21	火		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)	研究委嘱発表(柳崎小学校)			21	火
22	水		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)	研究委嘱発表(慈林小学校) 教育支援センターチャレンジ書初め (9:30 芝園教室、朝日教室)			22	水
23	木				川口市学校給食食品等選定委員会 (14:00 南平学校給食センター)		23	木
24	金			第3回いじめ対策協議会 (10:00 第二庁舎)			24	金
25	土						25	土
26	日						26	日
27	月			学校訪問(仲町小学校) 学力向上訪問(朝日西小学校、西中学校) 不登校対策協議会(15:00 青木会館)		全日制1年次スポーツ科学コース スキー研修 (～29日)(黒姫高原)	27	月
28	火		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室) 第1回小中学校在り方審議会(13:30 人財育成センター)	学校訪問(南中学校) 学力向上訪問(新郷東小学校、榛松中学校)			28	火
29	水		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)		令和6年度川口市健康教育大会 (13:30 青木会館)		29	水
30	木		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)				30	木
31	金		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (13:30 教育委員会室)				31	金

保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別 委員会

の概要について

日 時 令和６年１１月１５日（金）
午前１０時００分
場 所 議会第２委員会室

川 口 市 教 育 委 員 会

目 次

【報告事項】

- 1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども
条例」に基づく施策の取組状況について …… P 7

【質疑応答概要】 …… P 9

1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく施策の取組状況について

川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例第8条の規定に基づき、政策に関する取組状況を報告するもの。

(1) 教育分野における取組及び今後の対応

ア 医療的ケア児への対応

(ア) 看護師の配置状況

市立小学校3校（本町小学校・差間小学校・里小学校）に看護師5人（延べ人数）を配置済み。

(イ) 今後の対応

関係部局や関係機関との更なる連携による情報共有を図る。

イ 教職員への周知の状況

(ア) 取組状況

各種研修会を活用した周知（本条例・合理的配慮等）

(イ) 今後の対応

教職員研修の更なる充実（指導方法の改善・障害理解）

ウ 特別支援教育支援員・特別支援学級等補助員による支援体制の充実

(ア) 取組状況

幼児児童生徒の学習支援、健康面の把握や安全面の確保を目的として、市立幼稚園・学校における通常の学級、特別支援学級、発達障害・情緒障害通級指導教室に特別支援教育支援員又は特別支援学級等補助員を配置している。

(イ) 今後の対応

- a 特別支援教育支援員・特別支援学級等補助員の人材確保を進め、資質向上や配置人数等の体制の充実を図る。
- b 短時間勤務（4時間／1回）を導入し、志願者が多様な働き方を選択できるようにする。
- c 各学校の実態に応じた支援員等の活用方法の検討を行う。

エ 施設の整備

(ア) 取組状況

学校施設のバリアフリー化を図るため、障害のある児童生徒が安全かつ円滑に学校施設を利用できるよう、段差解消のためのスロープや多目的トイレの設置を進めている。

(イ) 今後の対応

障害のあるなしに関わらず誰もが利用しやすい学校施設の整備を進めるとともに、特別支援教育の推進のため、関係機関と連携し、障害のある児童生徒の特性やニーズに応じた多様な学習環境の整備を進める。

～略～

(3) 障害福祉分野における取組及び今後の対応

ア あいサポートキッズ運動

(ア) 取組状況

障害がある人もない人も、みんなで共に生きようとする「あいサポートマインド」を持って行動する子どもたちを育てるため、あいサポートキッズ研修を実施する。

実施日	対象者
令和6年11月12日	朝日東小学校4年生
令和6年12月上旬	十二月田小学校4年生

(イ) 今後の対応

- a 研修実施回数を増やす
- b 研修メッセンジャー（講師）の増員

～略～

保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会 質疑応答概要

(令和6年11月15日)

教育総務部 教育総務課

質 疑	応 答
【報告事項】1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく施策の取組状況について	
< 質 疑 > (後藤 留美 委員) 多目的トイレの設置状況を教えてほしい。 (関 裕通 委員) 学校施設のバリアフリー化は急務と考えているが、方針を教えてほしい。 (関 裕通 委員) 段差解消のスロープや多目的トイレのバリアフリー化については、学校からの要望を踏まえながら改修を行うのではなく、積極的に取り組んでいただきたい。(要望)	(教育総務課長) 令和5年度は、小学校2校、中学校5校に設置した。校舎の設置状況は、小学校52校のうち34校、中学校26校全てに設置している。 (教育総務課長) 段差解消のスロープについては、学校と連携しながら丁寧に対応していき、多目的トイレにおいては、学校要望を踏まえ、1校に1箇所の設置を進めていきたいと考えている。また、バリアフリー化を図るための財源確保に努めていく。

保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会 質疑応答概要

(令和6年11月15日)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
【報告事項】1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく施策の取組状況について	
< 質 疑 > (後藤 留美 委員) (1) アの医療的ケア児への対応について、医療的ケアを辞退した児童が1名いたとのことだが、その理由は。 (藤田 みつぐ 委員) (3) アのあいサポートキッズ運動について、学校では同運動以外にも、車イス体験やアイマスク着用などによる福祉についての学習がされているのか伺いたい。 (古川 九一 委員) (1) ア(ア) 看護師の配置状況について、小学校3校に延べ5名配置とのことだが、その内訳は。 また、中学校への配置はないようだが、看護師配置校以外における対象児童生徒への対応はどうなっているのか。	(指導課長) 当初、保護者は医療的ケアを希望していたが、本人が保護者以外の者によるケアを拒んだため、保護者の意向を再確認し、辞退となった。 (指導課長) 小学校の中学年を中心に総合的な学習の時間において車いすや盲導犬の体験などを行っている。 (指導課長) 小学校3校中、2校には2名ずつ交代で配置しており、ほか1校には1名を配置している。 また、看護師によらずとも自分自身で対応できる児童生徒等については看護師を配置していない状況である。

質 疑	応 答
(関 裕通 委員) (3) ア (イ) bの研修メッセンジャーの増員に関わり、教員全員が講習を受けることについての所見を。	(指導課長) 研修メッセンジャーの増員については、特別支援教育理解研修等において、担当課との連携のもと、あいサポートの周知を行うことに関して、どこまでできるか等は今後、研究・検討していきたい。

未来創造・教育力向上特別委員会

の概要について

日 時 令和６年１１月１４日（木）

午前１０時００分

場 所 議会第３委員会室

川口市教育委員会

目 次

【報告事項】

1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について	…… P 1 4
-----------------------	----------

【質疑応答概要】	…… P 2 0
----------	----------

1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について

(1) いじめ根絶に向けた取り組み

ア いじめ対応教員研修会

- (ア) 日時及び場所 令和6年10月11日(金) 午後3時 青木会館
(イ) 対象者 市立小・中・高等学校のいじめ対応教員82人
(ウ) 研修内容 講師 市教育委員会指導主事(生徒指導担当)
・本市の現状及び対応等について
・事例研修及びグループ協議

(2) いじめ問題に関する調査状況

今回報告する6事案のうち、1事案については、いじめ問題調査委員会を設置しており、調査継続中である。

残りの5事案については、いじめ問題調査委員会の設置を希望しない旨の回答があり、いじめ重大事態としての対応を終結した。

【報告の概要】

事案	調査委員会等の対応状況	事案の状況
11	いじめ問題調査委員会不要	終結
12	いじめ問題調査委員会不要	終結
13	いじめ問題調査委員会不要	終結
14	いじめ問題調査委員会設置(第1回)	継続中
15	いじめ問題調査委員会不要	終結
16	いじめ問題調査委員会不要	終結

ア 事案11について

(ア) 経緯

Aは、令和5年10月4日より学校に登校できなくなった。当初、学校はAから体調不良の休みが継続し、学校に登校しづらくなったとの訴えを聞いた。

同年12月22日、学校はA保護者から、友達に変なあだ名をつけられたり、ものまねをされたりしたことが学校へ行けない要因であるとの報告を受けた。しかし、Aが相手の名前は話してくれないとのことだった。学校はA保護者に、調査を進めていくこともできると提案したが、A保護者から「全体指導をお願いしたい」との要望を受け、調査等は行わなかった。

令和6年6月10日、市教育委員会は学校から本事案について、昨年度の時点で不登校の要因の一つにいじめの疑いがあったこと、令和6年度は1日も登校できていないことの報告を受けた。

同日、市教育委員会は学校へ、令和5年12月22日のA保護者からの訴えの後、速やかに調査及び市教育委員会へ報告をするべきであったことについて指

導し、いじめ重大事態の疑いがあることから、Aの現在の状況についても改めて確認するよう指示した。

同年7月5日、学校はA及びA保護者と面談し、現在学校へ行けない理由は昨年度と変わらないことを確認し、学校はいじめを認知した。

同日、市教育委員会は学校から上記の内容の報告を受け、いじめ重大事態として適切に対応するよう指示した。

(イ) 調査状況

令和6年1月12日、学校はA保護者と面談し、A保護者から、不登校の原因は「日々のプレッシャー、人からのプレッシャー、宿題について、変なあだ名をつけられること」であることを確認した。

同年7月5日、学校はA保護者と面談し、Aの現在の状況について、同年1月12日に確認した状況と変わらないことを確認した。

(ウ) その後の状況

令和6年7月5日、学校はA保護者に、本事案についていじめ重大事態として対応することの説明を行なった。

同年7月19日、A保護者からいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。同日時点で、Aの欠席は71日であった。

同年8月6日、市長に重大事態の発生及び学校主体で対応を行う予定であることについて報告した。

同年10月1日、市長に重大事態の調査結果及びこれまでの学校の対応について報告した。

同年10月18日時点でのAの欠席は103日であった。

イ 事案12について

(ア) 経緯

令和6年5月16日、Aは友達関係の悩みで学校を欠席した。学校はA保護者から、AがBとCから「死ね、ブス、ウザイ」と言われたとの訴えを受け、いじめを認知した。

同年5月21日、学校はA及びA保護者と面談を行なった。その際、A及びA保護者から、5月初旬の清掃時の言い争いの中で、BとCから「死ね、ブス、ウザイ」と言われ、怖くなったこと、学校には行きたいけれど登校できなくなってしまったとの訴えがあった。

同年7月9日、市教育委員会は学校からAの欠席が27日となったこと、今後登校するのに時間がかかりそうであるとの報告を受け、いじめ重大事態として適切に対応するよう指示した。

(イ) 調査状況

令和6年5月21日、学校は、BとCへ聞き取りを行い、上記の内容について事実であること、Aに謝りたいと考えていることを確認した。

同日、学校はA保護者へ、聞き取った内容を報告した。

同年7月11日、A及びA保護者が来校し、BとCがAへ謝罪をした。

(ウ) その後の状況

令和6年7月19日、学校はA保護者に、本事案についていじめ重大事態として対応することの説明を行なった。

同日、Aは登校できたが、令和6年7月19日時点で、Aの欠席は32日であった。

同年7月29日、A保護者からいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年8月6日、市長に重大事態の発生及び学校主体で対応を行う予定であることについて報告した。

同年9月19日、20日の宿泊学習には参加することができた。

同年10月1日、市長に重大事態の調査結果及びこれまでの学校の対応について報告した。

同年10月18日時点でのAの欠席は51日であった。

ウ 事案13について

(ア) 経緯

令和6年7月7日、Aから学校に、Aがクラスで悪口や陰口等のいじめを受けているとの訴えがあった。同日、A保護者からも同様の訴えがあり、学校はいじめを認知した。

学校は、A及びA保護者との面談や電話連絡を繰り返し実施するなかで、A及びA保護者ともに転校の意向があることを確認した。

同年7月17日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、いじめにより転校の意向が強いことから、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

なお、同年7月19日時点でのAの欠席は0日であった。

(イ) 調査状況

令和6年7月8日から、学校は、A及びB・C・D・E・F・G・H・I・J・Kから聞き取りを行なった。学校は、Aに対する悪口や陰口、菌扱いをしたこと、LINEで嘘の情報を伝えたこと、LINEでの悪口等についての行為を確認した。

同年7月11日、学校は、BからJの9人に対する指導を行なった。

同年7月18日、BからJの9人は、Aに謝罪した。

なお、Kについては、当人同士で直接話し合い、解決したとのことだった。

(ウ) その後の状況

令和6年7月23日、学校はA保護者と面談し、重大事態に関する説明及び調査委員会の立ち上げに関する説明を行なった。

同年7月24日、A保護者からいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年7月26日、A及びA保護者は、指定校変更に係る面談を行なった。

同年8月2日、市長に重大事態の発生及びこれまでの経緯について報告した。

同年8月26日のサマースクールから、Aは転校先の学校へ登校している。

同年10月1日、市長に重大事態の調査結果及びこれまでの学校の対応について報告した。

エ 事案 14 について

(ア) 経緯

令和 6 年 7 月 1 日、A 保護者から学校に電話連絡があり「A が嫌な思いをして学校に行きたくないと言っている」「いじめであり、加害者及びその保護者と話がしたい」「7 月 8 日に精神科の病院に行く」との訴えがあった。学校は、いじめを認知するとともに、校内のいじめ対策委員会で対応方針の検討を行なった。

同年 7 月 9 日、A 及び A 保護者から学校に「うつ状態」の診断書が提出された。

同年 7 月 10 日、市教育委員会は学校から、学校の対応における現状及び今後の方向性について報告を受け、A 及び A 保護者に寄り添った対応をするよう指示した。

同年 7 月 22 日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、いじめにより心身に重大な被害が生じた疑いがあることから、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

なお、同年 7 月 19 日時点での A の欠席は 13 日であった。

(イ) 調査状況

令和 6 年 7 月 2 日から、学校は、A 及び B・C・D・E から聞き取りを行なった。学校は、B・C・D・E から A に対しての悪口や A が嫌な気持ちになる行為を確認し、B・C・D・E に対する指導を行なった。また、A 及び A 保護者と B 及び B 保護者、C 及び C 保護者、D 及び D 保護者、E 及び E 保護者との話し合いの場をそれぞれ設定し、B・C・D・E は A に謝罪した。

(ウ) その後の状況

令和 6 年 8 月 4 日、学校は A 保護者にいじめ重大事態としての対応について説明を行い、A 保護者のいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望する旨の意向を確認した。

同年 8 月 21 日、市長に重大事態の発生及び学校主体で調査委員会を立ち上げる方針であることについて報告した。

同年 10 月 1 日、学校は A 保護者に学校の組織に第三者を加える体制での調査委員会を立ち上げて対応していくことについて説明した。

同年 10 月 7 日、第 1 回いじめ問題調査委員会を開催した。

同年 10 月 18 日時点での A の欠席は 19 日であった。

エ 事案 15 について

(ア) 経緯

令和 5 年 11 月、A と B との間で、悪口や SNS の投稿を巡ってトラブルがあった。学校は、双方から聞き取りを行い、お互いの認識にズレがあったものの、この件をきっかけに A と B の関係が悪くなったことから、お互いに距離をとる約束をした。

令和 6 年 4 月 12 日、A は C から「まだ転校しないの？」と聞かれ、A が「しない」と答えたところ、C に「クソ」と言われた、との訴えが A からあり、学校

はいじめを認知した。

同年 8 月 9 日、A と A 姉が来校し、A から、B にからかわれている感じがする、話しかけられて嫌な気持ちになっているとの訴えがあり、学校はいじめを認知した。また、学校は、A が、B と C との関係に悩み、転校の意向があることを確認した。

同年 8 月 21 日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、いじめにより転校の意向が強いことから、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

なお、同年 7 月 19 日時点での A の欠席は 1 日であった。

(イ) 調査状況

令和 6 年 4 月 12 日、学校は、A と C から聞き取りを行い、事実を確認した。同日、C は A に謝罪した。

同年 7 月 19 日、学校は、A と面談を行い、4 月に認知したいじめの解消確認を行なった。

なお、B については、令和 6 年 4 月から同年 7 月まで国外にいたため、お互い関わることはなかったが、同年 7 月 16 日から登校を再開している。その際、A は、B から話しかけられ、嫌な気持ちになったとのことであった。

(ウ) その後の状況

令和 6 年 8 月 22 日、学校は A 及び A 保護者と面談し、重大事態に関する説明を行なった。

同日、A 保護者からいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年 8 月 26 日、A 及び A 保護者は、指定校変更に係る面談を行なった。

同年 8 月 29 日、市長に重大事態の発生及びこれまでの経緯について報告した。

同年 9 月 9 日から、A は転校先の学校へ登校している。

同年 10 月 1 日、市長に重大事態の調査結果及びこれまでの学校の対応について報告した。

オ 事案 16 について

(ア) 経緯

令和 6 年 6 月 3 日、A 保護者から学校に「A が B から下校時に帽子を取られたり、悪口（ちび、泣き虫）を言われたりした」との訴えがあり、学校はいじめを認知した。

同日、学校が B の言動について指導した後、B が A に「なんで先生に言ったの」と強い口調で言ったことをきっかけに、A は欠席や遅刻、保健室への登校が続くようになった。

同年 9 月 9 日、A の欠席が 30 日に達し、学校から市教育委員会へ報告があった。市教育委員会は本事案について、いじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

(イ) 調査状況

令和 6 年 6 月 3 日、学校は A 及び B に事実を確認し、B へ指導した。B は A に対し謝罪した。

同年 6 月 4 日、学校は、前日に B が「なんで先生に言ったの」と A を責めた

ことについて事実を確認し、Bに指導した。BはAに対し謝罪した。

同年6月5日、学校はBと面談し、他人を傷つける行為をやめるよう改めて指導し、そのことをA保護者及びB保護者へ報告した。

同年7月24日、学校はA保護者との個別面談を行い、Aの思いやBへの対応について聞き取った。

同年9月2日、学校はA保護者と面談を行い、Aの現在の体調や夏季休業中の様子について聞き取った。

(ウ) その後の状況

令和6年9月11日、学校はA保護者にいじめ重大事態として対応することについて説明を行なった。

同年9月20日、A保護者からいじめ重大事態に関する調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年10月2日、市長に重大事態の発生及び調査委員会を立ち上げない形での対応を行なっていることについて報告した。

同年10月18日時点でのAの欠席は53日であった。

未来創造・教育力向上特別委員会質疑応答概要

(令和6年11月14日開催)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
【報告事項】 1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について	
< 質 疑 > (芝崎 正太 副委員長) 報告のあった中で、休みが多かったり、精神科にかかったりしている子に対して、医療機関への受診の必要性等を学校や教育委員会から推奨しているのか伺いたい。	(指導課長) 休んでいる子の中には起立性調節障害の子もいる。まだ医療にかかってはいないが、スクールソーシャルワーカー等が関わっている子もあり、状況に応じて医療機関を勧めている。事案11の全欠席の児童は、やっと教育支援センターの体験に参加することができた。参加の様子を見て、必要に応じて医療にもつなげていきたいと考えている。
(坂本 だいすけ 委員) 事案11の児童は全欠席なのか。	(指導課長) 今年度については全欠席である。
(坂本 だいすけ 委員) 事案の16について、BがAに「なんで先生に言ったの」と言っているが、このBへの指導はどのような内容であったのか伺いたい。	(指導課長) Bは、Aに限らず不特定多数の子に対して思ったことをそのまま発言してしまう、不用意に人を傷つけてしまう発言が多い子である。しかし、相手にとってはそれが傷つくことであること、学校に来られなくなるくらい怖いことであるということ、BとB保護者へ指導した。

質 疑	応 答
(坂本 だいすけ 委員) いじめ対応教員研修会の内容について、教えてほしい。	(指導課長) これまでは講義研修が多かったが、より主体的に取り組んでもらえるよう、市の事例を活用した研修を行なった。5年前中学校卒業後に自死にながったいじめがあり、その遺族から事例として扱い、今後に生かしてほしいとの要望を受け、本研修会で触れ、対応についての協議を行なった。
(坂本 だいすけ 委員) 具体的な事例を活用して教員が協議したとのことであるが、教員の反応はどうであったか。	(指導課長) 小学校の教員からは、「いじめで大切な子どもを亡くされた遺族の話を受け、子ども達の心の声にも耳を傾けていきたい」、「保護者目線で考えてみると家庭と学校の対応や考えに乖離があることを感じた」ということ、中学校の教員からは、「私たちの仕事の責任の重さを再確認するとともに、小さな変化も見逃さず、頼られる教師を目指し丁寧かつ迅速な対応を目指していく」との声があった。母親から預かった手紙を読ませていただき、その中に、空振りでもよいから小さな変化を見逃さずしっかり大人が見守っていく必要があるとの声があった。それを受けての感想であると考えられる。
(稲川 和成 委員) 今回6事案があり、唯一継続中の事案14につ	(指導課長) 第三者調査委員会を開いたということの報告

質 疑	応 答
いて、10月7日に行われた第1回いじめ問題調査委員会の内容を、差し障りのない範囲内で報告していただきたい。 (稲川 和成 委員) いじめ問題調査委員会にどのようなメンバーが選出されているかということも、市教委は一切何も聞かされていないということか。 (松本 幸恵 委員) 事案13の中で、LINEでの子ども間のやりとりがあったことや、事案15でSNSの投稿に関するトラブルがあったとのことであるが、LINE等SNSの利用についてどのように指導しているのか伺いたい。	はあるが、中身についてはこちらが関与しているものではなく、あくまで第三者が行なっているものであり、具体的な中身については最後の報告書までは受けないものとなっている。 (指導課長) メンバーや日時については把握している。メンバーは、学校のいじめ対策組織に第三者を加えており、委員長は校長、その他教頭、生徒指導主任、該当の学年主任、担任、人権擁護委員の計6名で行なっている。 (指導課長) SNSに関しては、危険性等について指導しているが、LINEについては小学校段階では推奨年齢ではないことなども情報提供している。具体的な指導としては、授業等でSNSの匿名性や闇バイトなどの犯罪に巻き込まれる危険性等について、文部科学省のサイトにある動画や外部講師の指導等を生かして継続して行なっている。 また、保護者に対しては、中学校の入学説明会で、同じ保護者同士の目線で買い与えた保護者の第一義的責任があるということ、家庭での見届けやルール作りが必要不可欠であるということをしてPTA会長から訴えていただいている。併せて、

質 疑	応 答
(松本 幸恵 委員) SNSやインターネット上の巡回を教員や教育委員会がすることは難しいのかどうかを伺いたい。	中学校長会、市の教育委員会、市PTA連合会が連名でスマートフォンの指導の徹底に係る通知を発出している。 (指導課長) インターネットの巡回、パトロールについては、市教委としては今のところ実施は難しい。

教育長報告（４）

教育財産の用途廃止について

1 財産(建物)の内容

名 称 文化財センター

種 別 (土地・建物)	所在地 (物件の表示)	地 番	地 目 又は 構 造	公簿地積（現況地積） 又は 床面積
建物 (２・３階部分)	本町一丁目	17 番 1	鉄筋 コンクリート	1,722.63 m ²
建物 (１階部分)	本町一丁目	17 番 1	鉄筋 コンクリート	606.13 m ²
			建物合計	2,328.76 m ²

2 用途廃止の理由

旧文化財センターは、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）の川口本町市街地住宅の１～３階部分に設置されていたが、建設地は市からUR都市機構への借地であり、令和６年１２月６日の借地期間満了に伴い、UR都市機構が建物を除却したうえで土地を市に返還することから、郷土資料館等へ移転し、旧文化財センターの建物を用途廃止したものの。

3 廃止日

令和６年１２月４日

教育長報告（５）

川口市公民館運営審議会委員の解嘱について

公民館名	氏 名	委嘱年月日	条例第３条 該当名	解嘱年月日
幸栄公民館	緑川 定雄	令和６年７月１日	社会教育関係者	令和６年１１月１０日
戸塚西公民館	木岡 崇	令和６年７月１日	知識経験者	令和６年１２月１１日

教育長報告（6）

令和7年度埼玉県公立小中学校等校長・教頭候補者選考の結果について

1 選考結果の状況

※（ ）内は昨年度

	志願者数	合格者	合 格 率 (%)
校長選考	33 (35) うち女性2名	15 (8) うち女性1名	45.5 (22.9)
教頭選考	17 (18) うち女性7名	15 (16) うち女性7名	88.2 (88.9)

2 合格者の状況

	合格者数	小学校	中学校	市教委	男	女
校長選考	15	5	1	9	14	1
教頭選考	15	12	2	1	8	7

教育長報告（7）

川口市立「学びの多様化学校」の設置について

1 設置目的

学びの多様化学校への転入学をきっかけに、学習、学校生活、友だちとの関係づくりをもう一度スタートしたい生徒を支援する。

○特別の教育課程の編成 ○個に応じた進路指導 ○不登校支援の拠点

2 設置概要

- (1) 校 種：川口市立中学校 ※学校名は今後検討
 (2) 場 所：川口市立芝西中学校陽春分校
 (3) 開 校：令和8年4月（予定）
 (4) 設置形態：学びの多様化学校を「本校」、夜間中学を多様化学校の「分校」として設置（同一敷地内・同一校舎 分校）し、日中は多様化学校として、夜間は夜間中学として校舎を使用する。

	学びの多様化学校	夜間中学（芝西中学校陽春分校）
種別	本校	学びの多様化学校の分校
学級数	3学級（1学年 15名程度）	3学級（令和6年度）
教職員 （県費）	校長 1名 教頭 1名 教諭 7名 養護教諭 1名 その他加配を想定	教頭 1名（加配） 主幹教諭・教諭 7名 非常勤 4名 免外非常勤 2名 養護教諭 2名（加配） その他加配（日本語等） （校長は芝西中学校と兼務）
市費	特別支援教育子ども支援員 3名 すこやか・サポート相談員 各1名 研究所カウンセラー 1名 校務員 1名 を想定	校務員 1名 アシスタントティーチャー 2名

(5) 対象となる生徒

- ア 川口市内に在住していること。
 イ 病気または経済的な理由以外で概ね年間30日以上欠席、または保健室、相談室、校内教育支援センター、教育支援センター等に通っており、現在もその状態が続いていること。
 ウ 入学前から在籍校を通じ、教育支援センターへ継続的に相談するなど、情報が共有されていること。
 エ 生徒に本校へ登校しようとする意欲があること。 また、保護者が本市多様化学校に関して理解いただけることが確認できること。
 オ 通常学級に在籍している生徒。

(6) 転入学

教育支援センターに相談し、定期的に通級し、教育相談を継続する中で転入学の意思がある生徒を転入学検討委員会にて決定する予定。

教育長報告（８）

令和７年度地域クラブ活動推進モデル事業について

１ 目的

休日の部活動の段階的な地域移行の推進に関するモデル事業を実施し、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保など様々な課題に総合的に取り組むことを目的とする。

２ 実施スケジュール

- （１）団体募集期間 ： 令和７年１月
- （２）審査・選定期間 ： 令和７年２月～３月
- （３）参加生徒募集期間： 令和７年４月、令和７年８月（２回／期間）
- （４）活動実施期間 ： 令和７年４月～令和８年２月（長期・短期あり）
- （５）活動報告期間 ： 令和８年１月～３月

※期間は予定のため、多少前後する可能性あり。

３ 応募資格

次のいずれかに該当する団体又は個人とする。

- （１）本事業を円滑に実施することができる総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、プロスポーツチーム、スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学若しくは企業などの法人（法人でない社団又は財団で代表者又は管理人の定めのあるものを含む。）
- （２）法人格を有さないが、次に掲げる要件の全てを満たす団体
 - ア 組織の運営方法などを定めた定款・会則等を有すること。
 - イ 予算、決算を的確に行っていること。
 - ウ 活動内容や会計処理に関する情報が公開されていること。
- （３）スポーツ及び文化芸術活動に精通している個人（有資格者、有段者等）

４ 実施団体数

- （１）長期モデル事業： ５団体程度
- （２）短期モデル事業： １０団体程度

５ 補助金額

計１３５万円（この範囲内で補助）

６ 備考

令和７年度のモデル事業については、今後の移行を見据え、受益者負担（参加者から参加費を集めて実施）とする予定。（金額は未定）

その他（１）

令和６年度川口市体育三賞選考結果について

１ 川口市体育賞

（１）スポーツ功労賞

選考結果 【川口市空手道連盟前会長 埼玉県空手道連盟副会長 福田 裕隆】

選考理由 永年にわたり、川口市空手道連盟の運営・発展に努め、本市市民のスポーツの推進に多大な功績をあげた。

（２）スポーツ川口賞

○ミスター川口

選考結果 バドミントン【萩原 駿希（埼玉栄中学校）】

韓国ジュニアインターナショナルチャレンジ	U15 男子シングルス	優勝
	U15 男子ダブルス	優勝
アジアジュニア選手権大会 2023	U15 男子ダブルス	優勝
第54回全国中学生バドミントン大会	男子ダブルス	優勝

選考理由 韓国ジュニアインターナショナルチャレンジをはじめ、多くの国際大会において優勝という輝かしい成績を残し、さらに、第54回全国中学生バドミントン大会において優勝という輝かしい成績を残した。

○ミス・ミセス川口

選考結果 車いすテニス【高室 侑舞（SBC メディカルグループ）】

Cruyff Foundation Junior Masters	女子シングルス	2位
	女子ダブルス	優勝
Roland Garros Juniors	女子シングルス	ベスト4
	女子ダブルス	2位
US Open Junior Wheelchair Championships	女子シングルス	優勝
	女子ダブルス	優勝

選考理由 US Open Junior Wheelchair Championships（全米オープンジュニア）において女子シングルス、女子ダブルスの優勝をはじめ、Cruyff Foundation Junior Masters（世界ジュニアマスターズ）、Roland Garros Juniors（全仏オープンジュニア）において優勝等の輝かしい成績を残した。

(3) スポーツ優秀賞

選考結果及び選考理由

スポーツクライミング【本間 大晴（小原歯車工業株式会社）】

IFSC クライミングワールドカップ 呉江 リード 2位

武術太極拳【大河内 天欧（順天高等学校）】

第32回 JOC ジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会 南棍 2位

柔道【小林 陸（武蔵野中学校）】

第55回全国中学校柔道大会 男子 - 81 kg級 優勝

ソフトテニス【木原 祐翔（川口市立上青木中学校）】

第35回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 男子シングルス 2位

レスリング【ホアン ティエン ラップ（川口クラブ）】

全日本マスターズレスリング大会 レスリングフリースタイル - 62 kg級 優勝

テニス【輿石 龍児（川口市役所）】

第86回地主株式会社全日本ベテランテニス選手権 55歳以上ダブルス 優勝

ボウリング【五月女 瑛太（川口市立上青木中学校）】

文部科学大臣杯第48回全日本中学ボウリング選手権大会 男子個人 優勝

JBC 会長杯第39回全日本年齢別ボウリング選手権大会 男子個人 2位

パワーリフティング【根本 敬大】

アジアクラシックパワーリフティング選手権大会 男子 66 kg級 3位

第29回ジュニアジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会
男子 66 kg級 2位

水泳【猪狩 唯翔（埼玉県立川口特別支援学校鳩ヶ谷分校）】

2023 特別全国障害者スポーツ大会 知的障害少年の部 50m バタフライ 2位

知的障害少年の部 50m 自由形 2位

柔道【中山 実（川口市立西中学校）】

第55回全国中学校柔道大会 女子 - 44kg 級 優勝

水泳【高山 紫妃（武南高等学校）】

2024 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会（インターハイ）

女子 200m 個人メドレー 優勝

バトントワーリング【瓜生 陽花（青木バトンクラブ）】

第49回全日本バトントワーリング選手権大会 ソロトワール女子 U18 優勝

バトントワーリング【朝倉 珠生（青木バトンクラブ）】

第49回全日本バトントワーリング選手権大会 ソロトワール女子 U18 2位

フェンシング【山崎 妃奈乃（早稲田大学）】

2024アジアジュニア・カデ選手権大会	ジュニア女子サーブル	8位
第31回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会	ジュニア女子サーブル	2位

バドミントン【高橋 妃菜花（大宮中央高等学校）】

第26回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会	女子シングルス	優勝
--------------------------	---------	----

武術太極拳【大塚 凜（川口市立里中学校）】

第9回世界ジュニア武術太極拳選手権大会	長拳	5位
第32回ジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会	長拳	2位

武術太極拳【寺島 濤（川口市立芝中学校）】

第41回全日本武術太極拳選手権大会	刀術	2位
-------------------	----	----

陸上【富田 紗帆（川口市立高等学校）】

U20 日本陸上競技選手権大会	女子 3000m 障害	優勝
-----------------	-------------	----

水泳【菅 七海（川口市立幸並中学校）】

第47回JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会	女子 400m 自由形	2位
---------------------------	-------------	----

(4) 特別賞

選考結果及び選考理由

ブレイキン【湯浅 亜美（Good Foot Crew）川口市出身】

パリ2024オリンピック競技大会	ブレイキン（女子）	優勝
------------------	-----------	----

サッカー【高橋 はな（三菱重工浦和レッズレディース）川口市出身】

パリ2024オリンピック競技大会	サッカー（女子）	ベスト8
------------------	----------	------

フェンシング【上野 優佳（エア・ウォーター株式会社）星槎国際高等学校川口出身】

パリ2024オリンピック競技大会	フルーレ団体（女子）	3位
------------------	------------	----

車いすテニス【三木 拓也（トヨタ自動車株式会社）川口市在住】

パリ2024パラリンピック競技大会	男子シングルス	9位
	男子ダブルス	2位

車いすテニス【高室 冴綺（株式会社スタートライン）川口市出身】

パリ2024パラリンピック競技大会	女子シングルス	9位
	女子ダブルス	5位

ゴールボール【萩原 紀佳（国立障害者リハビリセンター）川口市出身】

パリ2024パラリンピック競技大会	女子	6位
-------------------	----	----

陸上【若生 裕太（株式会社電通デジタル）川口在住】

パリ2024パラリンピック競技大会	男子やりなげ（視覚障害 F13）	7位
-------------------	------------------	----

2 第42回大野元美記念体育賞

選考結果 空手【阿部 遥佑（川口空手アカデミー）】

第13回世界カデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会

男子組手 - 84 kg級 3位

第22回アジアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会

男子組手 - 84 kg級 3位

第3回全日本空手道体重別選手権大会

男子組手 - 84kg 級 2位

選考理由 第13回世界カデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会 男子組手-84 kg級において3位入賞をはじめ、上記国際大会や国内大会において輝かしい成績を残した。

※ 大野元美記念体育賞の概略

川口市の体育・スポーツの振興に永年貢献された名誉市民故大野元美市長のご偉業を称え、毎年度市内の最も優秀な選手（チーム）又は市民体育の振興に貢献された方に対し「大野元美記念体育賞」を贈り、これによって市内の体育・スポーツをますます振興させ、併せて技術の向上をはかろうとするもの。

なお、大野元美記念賞顕彰会は、昭和58年1月1日に発足したもの。

3 第61回押田記念体育賞

選考結果 ソフトテニス【上青木中学校 男子ソフトテニス部】

第55回全国中学校ソフトテニス大会 男子団体 2位

木原 祐翔 奥田 向陽 山里 綺乙 吉澤 柚希

江口 真叶 村田 優斗 桐山 柊介 小吉 歩大

選考理由 第55回全国中学校ソフトテニス大会において、男子団体2位という輝かしい成績を残した。

※ 押田記念体育賞の概略

川口市スポーツ界の先達として永年貢献された故押田勤先生のご偉業を称え昭和39年10月に押田記念体育顕彰会が発足。

先生が体育・スポーツに対して残された熱意とご努力を受けついで毎年度市内で最も優秀なスポーツ選手に「押田記念体育賞」を贈り、市の体育・スポーツをますます振興させ、併せて技術の向上をはかろうとするもの。

その他（２）

第４２回川口マラソン大会の結果について

No.	種目		A		B		C		B-C	A-B
			エントリー (人数)		出走者		完走者		棄権者 (走行途中)	不参加者
1	ハーフ	高校生～３９歳以下男子	380	2,049	331	1,823	319	1,747	12	49
2	ハーフ	40歳代男子	565		511		501		10	54
3	ハーフ	50歳代男子	620		556		537		19	64
4	ハーフ	60歳代男子	201		174		161		13	27
5	ハーフ	70歳以上男子	35		33		28		5	2
6	ハーフ	高校生～３９歳以下女子	69		59		56		3	10
7	ハーフ	40歳代女子	73		63		61		2	10
8	ハーフ	50歳代女子	79		72		61		11	7
9	ハーフ	60歳以上女子	27		24		23		1	3
10	10km	高校生～３９歳以下男子	468	2,090	413	1,848	412	1,840	1	55
11	10km	40歳代男子	361		328		327		1	33
12	10km	50歳代男子	470		417		415		2	53
13	10km	60歳代男子	225		191		190		1	34
14	10km	70歳以上男子	95		81		80		1	14
15	10km	高校生～３９歳以下女子	132		115		114		1	17
16	10km	40歳代女子	127		112		111		1	15
17	10km	50歳代女子	151		134		134		0	17
18	10km	60歳以上女子	61		57		57		0	4
19	3km	中学生男子	60	734	51	632	50	631	1	9
20	3km	高校生～５９歳以下男子	336		294		294		0	42
21	3km	60歳代男子	45		32		32		0	13
22	3km	70歳以上男子	31		25		25		0	6
23	3km	中学生女子	19		16		16		0	3
24	3km	3km高校生～５９歳以下女子	215		190		190		0	25
25	3km	60歳以上女子	28		24		24		0	4
26	2km	小学５・６年生男子	150	807 (1107)	138	737 (1009)	138	734 (1006)	0	12
27	2km	小学５・６年生女子	61		51		51		0	10
28	2km	小学３・４年生男子	194		179		176		3	15
29	2km	小学３・４年生女子	102		97		97		0	5
30	2km	ファミリー	300 (600)		272 (544)		272 (544)		0 (0)	28 (56)
合計			5,680 (5,980)		5,040 (5,312)		4,952 (5,224)		88 (88)	640 (668)

※ファミリーの部は２人一組での参加のため、（ ）内の数字が実人数。

前大会(第４１回)	人数	エントリー	出走者	完走者	棄権者	不参加者
	実人数（ファミリー込）	5,392	4,782	4,696	86	610
		5,624	4,989	4,903	86	635

第42回 川口マラソン大会 上位入賞者

ハーフ 男子高校生～39歳以下			
完走者数			319
順位	氏名	所属	記録
1	西田 稜		1:07:06
2	吉田 惺和	川口市立	1:09:02
3	谷川 徹弥	自衛隊 ヘリ団	1:09:07
4	鈴木 祐輔	川口市陸協	1:12:30
5	飯田 拓真	DreamAC	1:12:49
6	松ヶ野 毅	埼玉陸協	1:13:30

ハーフ 女子高校生～39歳以下			
完走者数			56
順位	氏名	所属	記録
1	川崎 由理奈	RUNARX	1:23:38
2	中井 真利江		1:33:26
3	根本 明根	MUDE	1:36:49
4	榎本 千春		1:38:10
5	菊池 尚美		1:38:31
6	松村 珠央	with-W	1:38:34

ハーフ 男子40歳代			
完走者数			501
順位	氏名	所属	記録
1	山口 航		1:09:33
2	鈴木 貴樹	北東京ベース	1:11:36
3	生玉 顕	南臺寺走友会	1:12:07
4	小川 勝也	カナガワRC	1:13:25
5	宮崎 栄一	カナガワRC	1:15:42
6	荻原 慶也	浦安ランナース	1:15:56

ハーフ 女子 40歳代			
完走者数			61
順位	氏名	所属	記録
1	上 明子	ミニーちゃん	1:29:11
2	中村 沙世子		1:29:32
3	吉澤 恵理		1:32:44
4	福重 仁美		1:34:05
5	川崎 里美		1:36:52
6	沖田 友美	新井塾	1:39:35

ハーフ 男子50歳代			
完走者数			537
順位	氏名	所属	記録
1	中田 輝明	カナガワRC	1:18:10
2	松崎 克仁	イケオジ軍団	1:21:02
3	吉川 正治	RUNARX	1:21:26
4	近藤 正隆	アトリエソルト	1:21:48
5	塩中 篤史		1:22:59
6	寺石 正樹	SOMPO	1:23:29

ハーフ 女子50歳代			
完走者数			61
順位	氏名	所属	記録
1	工藤 美賀	SUNTECH	1:38:22
2	高橋 正恵	ルナークス	1:39:24
3	近野 智子	カナガワRC	1:40:20
4	渡嘉敷 晶子	eA埼玉	1:42:07
5	君島 美幸		1:42:09
6	秋山 晴美	ルナークス	1:42:16

ハーフ 男子60歳代			
完走者数			161
順位	氏名	所属	記録
1	若林 進	上尾原市RC	1:28:10
2	坂本 忠信	FOR	1:28:20
3	菊地 勝巳		1:30:01
4	本橋 常義	庫前屋酒店	1:31:50
5	天野 賢一	遠峰山岳会	1:32:10
6	春日 裕司		1:34:14

ハーフ 女子60歳以上			
完走者数			23
順位	氏名	所属	記録
1	武笠 富恵	コンフィアンサ	1:42:47
2	中軽米 恵子	HTC	1:47:31
3	箕田 春香	カナガワRC	1:51:10
4	冨永 美佐子	浦和駄馬O-O	1:56:44
5	浜崎 安希	さいたま走友会	1:56:57
6	小森 佳子		2:00:22

ハーフ 男子70歳以上			
完走者数			28
順位	氏名	所属	記録
1	久保 武明		1:33:58
2	佐藤 修	茂原健走会	1:39:25
3	渡辺 憲吉	じんたいRC	1:45:00
4	山田 幹夫	ホノルルクラブ	1:49:12
5	浜戸 昇		1:49:14
6	小島 睦司		1:51:03

10km 男子高校生～39歳以下			
完走者数			412
順位	氏名	所属	記録
1	荒井 雄哉	K-Pro	0:32:54
2	堀内 幸太朗	川口市立高校	0:33:00
3	末木 新太	川口市立高校	0:34:30
4	成島 明希	川口市立高校	0:34:39
5	大坪 俊斗	川口市立	0:34:50
6	加藤 穩	加藤家	0:35:12

10km 女子高校生～39歳以下			
完走者数			114
順位	氏名	所属	記録
1	富田 紗帆	川口市立高校	0:36:42
2	小林 美波		0:37:11
3	近藤 花音	川口市立	0:37:36
4	加藤 永莉	さいたま市陸上	0:40:37
5	小島 歩佳	川口市立高校	0:40:39
6	藁谷 希理	カナガワRC	0:40:53

10km 男子40歳代			
完走者数			327
順位	氏名	所属	記録
1	柿沼 直樹	川口市陸協	0:33:09
2	大熊 啓史	戸田陸協	0:33:25
3	土濃塚 渉	さいたま市陸協	0:36:47
4	大瀧 篤志		0:37:07
5	宅野 紘一	川口市役所	0:38:39
6	南 健太郎		0:38:48

10km 女子40歳代			
完走者数			111
順位	氏名	所属	記録
1	坂本 久美子		0:41:55
2	原田 真穂		0:43:05
3	巽 恵愛		0:44:05
4	川口 未希子	EVOT. C	0:44:58
5	糸見 久美子		0:45:07
6	神谷 睦		0:45:28

10km 男子50歳代			
完走者数			415
順位	氏名	所属	記録
1	友重 剛	まるお製作所	0:36:49
2	相田 浩幸		0:37:29
3	大澤 元	川口技研RC	0:38:10
4	小澤 弘明	まぐろ軍団	0:38:14
5	今野 正春	DS	0:38:28
6	大久保 裕之	やるシかない	0:38:56

10km 女子50歳代			
完走者数			134
順位	氏名	所属	記録
1	佐藤 タ子	葛西ランナーズ	0:44:32
2	平林 由美		0:45:36
3	金澤 恵子		0:45:40
4	大久保 陽子		0:46:28
5	尾形 紀子	フジカ工業	0:47:15
6	竹浪 美和	らいふ東浦和	0:49:41

10km 男子60歳代			
完走者数			190
順位	氏名	所属	記録
1	石井 英和	隠居ゴキちゃん	0:40:03
2	畑名 秀泰	チーム武	0:41:56
3	尾崎 恵一	カナガワRC	0:42:03
4	尾崎 清隆	湘南RC	0:43:08
5	深澤 昭男	恒栄電設	0:43:20
6	染谷 明人		0:43:53

10km 女子60歳以上			
完走者数			57
順位	氏名	所属	記録
1	三田 麻利子	カナガワRC	0:45:03
2	馬淵 敦子	河会クラブ	0:48:09
3	金子 久子	サニエスリンク	0:49:23
4	飯塚 弘子	戸スポ	0:50:45
5	伊藤 みさえ		0:50:59
6	本庄 京子	ルナークスRC	0:55:45

10km 男子70歳以上			
完走者数			80
順位	氏名	所属	記録
1	齊藤 敏幸	さいけい走友会	0:45:08
2	安部 眞公		0:46:33
3	吉岡 則重	越谷マラニック	0:49:18
4	内田 博文		0:50:38
5	山口 和之	アイビ川口	0:52:51
6	伊藤 留	相模原走ろう会	0:53:28

3km 男子中学生			
完走者数			50
順位	氏名	所属	記録
1	望月 光太	鳩ヶ谷中学校	0:09:24
2	近藤 拓	川口AC	0:09:29
3	清藤 優成	川口南中学校	0:09:38
4	櫻井 裕介	熊谷東中学校	0:09:51
5	上原 光翔	青木中学校	0:09:54
6	小林 あゆむ	中島中学校	0:10:14

3km 女子中学生			
完走者数			16
順位	氏名	所属	記録
1	由利 菜歩乃	川口西中	0:10:30
2	浅倉 東子	仲町中学校	0:10:51
3	田崎 志帆	領家中学校	0:11:19
4	松尾 悠	川口AC	0:11:49
5	渡邊 優南	戸塚西	0:12:18
6	沼上 芽以	三室中学校	0:12:56

3km 男子高校生～59歳以下			
完走者数			294
順位	氏名	所属	記録
1	黒田 光		0:08:47
2	斉藤 雄基		0:09:13
3	坂本 達哉		0:09:21
4	二階堂 元太		0:09:32
5	野島 音粋	川口北高等学校	0:09:35
6	富永 新	川口市陸協	0:09:47

3km 女子高校生～59歳以下			
完走者数			190
順位	氏名	所属	記録
1	久保田 菜々子		0:12:20
2	竹内 郁子		0:12:41
3	大坂 仁寧	武南高校	0:12:42
4	高橋 春花		0:12:55
5	藤本 珠笛		0:12:58
6	加藤 雅	武南高校	0:13:01

3km 男子60歳代			
完走者数			32
順位	氏名	所属	記録
1	橋本 康範	カナガワRC	0:12:11
2	水上 透	ミヤコスポーツ	0:12:11
3	井上 道夫	井上整形外科	0:12:12
4	石田 義樹	カナガワRC	0:12:29
5	石渡 幸之助	ドルフィン	0:12:56
6	平山 一則	カナガワRC	0:13:18

3km 女子60歳以上			
完走者数			24
順位	氏名	所属	記録
1	佐野 みゆき		0:15:46
2	國見 理恵	深谷SRC	0:16:00
3	羽生 万純	蕨戸田市医師会	0:16:18
4	小林 明美		0:17:14
5	星野 恵		0:17:50
6	翁蔵 弥生	パークシティ	0:18:32

3km 男子70歳以上			
完走者数			25
順位	氏名	所属	記録
1	小林 邦夫	楓AC	0:14:07
2	竹内 昭五		0:14:49
3	宮本 経之		0:14:52
4	大瀧 光信		0:14:55
5	森田 和男		0:14:57
6	佐野 博史		0:16:45

2km 男子小学5・6年生			
完走者数			138
順位	氏名	所属	記録
1	鈴木 統仁	舟戸小学校	0:06:43
2	唐川 絆汰	EvoT. C	0:06:54
3	高柴 暖		0:07:02
4	高久 秀仁	根岸小学校	0:07:24
5	石川 昇	舟戸小学校	0:07:30
6	小柳 大斗	芝小学校	0:07:32

2km ファミリーの部			
完走者数(エントリー)			272
順位	氏名	所属	記録
1	野崎 純平・野崎 凜子	並木小学校	0:08:00
2	大澤 祐樹・大澤 桜弥	中居小学校	0:08:06
3	佐々木 歩・佐々木 陽翔	中居小学校	0:08:08
4	西本 元信・西本 悠粋	チームビノビノ・神根東小学校	0:08:09
5	椎橋 正寿・椎橋 永	飯仲小学校	0:08:33
6	桐原 大介・桐原 一路	芝富士小学校	0:08:39

2km 女子小学5・6年生			
完走者数			51
順位	氏名	所属	記録
1	バイネルト 飛奈	バンビーニ	0:07:19
2	浜口 紗綾	FCアレグリ	0:07:42
3	満園 梨央		0:07:44
4	橋本 京香	青木中央小	0:07:46
5	福田 朱里	FCレガーラ	0:07:55
6	松岡 まや	駿河台ジュニア	0:08:05

2km 男子小学3・4年生			
完走者数			176
順位	氏名	所属	記録
1	横山 弘輝	EvoT. C	0:07:43
2	八田 斉士	原町小学校	0:07:44
3	富田 青那	元郷小学校	0:07:44
4	富田 空良	元郷小学校	0:07:44
5	石嶺 宋弦	EVO. TC	0:07:50
6	横川 大晴		0:07:50

2km 女子小学3・4年生			
完走者数			97
順位	氏名	所属	記録
1	星野 詩彩	上青木小学校	0:07:50
2	中里 はる香	バンビーニ	0:07:55
3	植松 詩	うたぴょん	0:08:05
4	名倉 凜	前川小学校	0:08:13
5	田中 愛海	草加小学校	0:08:13
6	山本 紗蘭	EVO. , TC	0:08:20

議案第 1 2 6 号

川口市立小中学校在り方審議会委員を委嘱することについて

川口市立小中学校在り方審議会委員に別紙の者を委嘱するため、川口市立小中学校
在り方審議会条例（令和 6 年条例第 5 3 号）第 4 条の規定により議決を求める。

令和 6 年 1 2 月 1 9 日提出

川口市教育委員会教育長 井 上 清 之

1 委嘱をする者

No	区分	氏 名	備考
1	学識経験者	安原 輝彦	浦和大学教授
2	学識経験者	石川 泰成	埼玉大学教授
3	知識経験者	廣瀬 進治	川口商工会議所
4	知識経験者	菊地 美代子	川口商工会議所
5	市民民間団体推薦	望月 佳司	南平地区連合町会
6	市民民間団体推薦	渡部 彰	横曽根地区連合町会
7	市民民間団体推薦	田原 浩之	P T A連合会
8	市民民間団体推薦	潮田 香織	P T A連合会
9	学校教育関係者	松田 裕之	川口市退職校長会
10	学校教育関係者	本橋 克展	学校運営協議会委員
11	学校教育関係者	小林 和八	学校運営協議会委員
12	市立学校の校長	井上 千春	川口市小学校長会
13	市立学校の校長	柳田 朗	川口市中学校長会
14	市民	清水 秀文	公募市民
15	市民	加藤 治	公募市民

2 任期

令和7年1月28日から、諮問に対し最終的な答申を行う日まで

議案第 127 号

川口市立小中学校在り方審議会への諮問について

このことについて、別紙のとおり諮問をするため、川口市立小中学校在り方審議会
条例（令和 6 年条例第 53 号）第 2 条の規定により議決を求める。

令和 6 年 12 月 19 日提出

川口市教育委員会教育長 井 上 清 之

川口市立小中学校在り方審議会会長 様

川口市教育委員会

川口市立小中学校適正規模・適正配置について（諮問）

川口市立小中学校在り方審議会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

記

1 諮問事項

川口市立小中学校再編計画について

2 調査及び審議内容

- （1）小中学校の適正規模に関すること。
- （2）小中学校の適正配置に関すること。
- （3）その他教育環境の整備に関して必要な事項に関すること。

（諮問理由）

児童生徒のよりよい教育環境の整備と、教育の質のさらなる充実を目的とした学校の適正規模及び適正配置を推進するため、平成24年2月に小中学校適正規模適正配置基本方針（以下「基本方針」という。）を策定し、令和2年3月に改定しました。

この基本方針をもとに取組を進めてきましたが、全国的に少子化が進む中、本市においても、児童生徒の減少に伴い小中学校の小規模化が進んでいる地区もあり、教科担任制の推進等、教育環境や学校運営などに様々な影響を及ぼすことが懸念されています。また、このことは市立幼稚園についても同様であり、将来的に人口減少や学校施設の老朽化が進んでいく中、本市に必要な学校数や児童生徒数の適正化を進めていくことは不可欠です。

こうしたことから、よりよい教育環境の整備と充実した学校教育の実現を目的として、基本方針の改定を含め、「川口市立小中学校再編計画」を新たに策定するにあたって諮問するものです。